

If you can dream, you can do it!

(もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを行うことができる)

—今、頑張ることの意義—

公益社団法人 経済同友会 会員
林 明 夫

あとでお読みになりやすいように、Q and A の形で本日の出張授業資料を作りました。御活用ください。

Q 1 : 本日の授業の目的・ゴールは何ですか。授業が終わったあと、どのようなことができるようになってもらいたいのですか。

A : お一人お一人の生徒の皆様が、自分の将来について自信を持って考えることができる動機、きっかけをつくること、本日の授業の目的・ゴールです。

Q 2 : 好きなことばはありますか。あったら紹介してください。

A : あります。一番好きなのは、何と英語のことばです。

① “If you can dream, you can do it!”

② “If” は「もし」、「you」は「あなたが」、「can」は「～することができる」で、「dream」は「夢」という意味もありますが、ここでは「夢を見る」という意味です。If you can dream までで「もしあなたが夢を見ることができれば」となります。

③ そのあとの “you” は「あなたは」、「can」は「～することができる」、「do」は「～をする」、「it」は「それを」という意味です。you can do it で「あなたはそれを行うことができる」となります。

④ まとめていうと、“If you can dream, you can do it!” は「もしあなたが夢を見ることができれば、あなたはそれを行うことができる」となります。

Q 3 : この他にも好きなことばはありますか。もしあったら、紹介してください。いっしょに学生時代のことも話してください。

A : あります。たくさんあります。

(1) 「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

(3) 「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組むこと)

(4) スポーツや部活動によって得られる「3つの宝(たから)」

① 「練習は不可能を可能にする」

② 「フェアプレイの精神」

③ 「よき友」

Q 4 : 皆様も好きなことばがありますか。あったら私に教えてください。

A : (1) _____
(2) _____
(3) _____

Q 5 : スポーツや部活動によって得られるものは、「3つの宝」以外にもあるとお考えですか。

A : はい、まだまだあると私は考えます。

- (1)「遠征をすることで広く世の中を知ること」
- (2)「上には上がいる」、「練習を怠るとすぐに追いつかれ、追い抜かれる」
- (3)「礼儀正しさ」、「躰(しつけ)」
 - ①「美しい立居振舞い(たちいふるまい)」
 - ②「敬語表現を含む言葉遣い(ことばづかい)」
- (4)「チームプレイの精神」(自分のポジションは責任を持って担当する。チームの皆を心から信頼する)
- (5)「ねばり強さ」、「最後までやり抜く力」
- (6)「健康な身体と精神」

*スポーツや部活動によって得られるものは、このようにたくさんあります。

Q 6 : 中学校での各教科の学習や教科以外の学校での活動は、上の学校や社会に出て役に立つのですか。

A : 役に立ちます。すべて役に立ちます。

- (1)中学校で学習するすべての教科は、高校で役に立ちます。高校の学習は中学校の学習の上に成り立っているからです。
- (2)これは、中学校の学習が小学校の学習の上に成り立っているのと同じです。中学校での学習は、高校での学習の基礎となります。
- (3)同じように、高校での学習は、高校卒業後に皆様が進学する大学・短期大学・専門学校の基礎となります。就職して仕事をしたり社会活動をしたりする上での基礎となります。このように、高校での学習は上級学校や社会に出てすべて役に立ちます。一生役に立ちます。役に立たないものは一つもありません。就職試験のときにも役立ちます。
- (4)ですから、中学校や高校など、学校で用いた教科書や教材、ノートは決して処分しないこと。学校を出てからも繰り返し読み直すことです。
- (5)これからは、アンテナを張り巡らせて各教科がどのように役に立つのかも考えながら、学習に励んでください。それには、図書館などで各教科の歴史を学習すると面白いですよ。

Q 7 : 中学校での教科以外の教育活動は、上級学校や社会に出て役に立つのですか。

A : はい、役に立ちます。すべて役に立つと私は考えます。

- (1)入学式、卒業式、始業式、終業式、運動会、文化祭、体験学習、修学旅行などの学校行事
- (2)朝礼、ホームルーム、いろいろな当番、学級会活動、生徒会活動、ボランティア活動
- (3)部活動
- (4)登下校

*朝食をしっかりと食べ、服装を整えた上で、欠席・遅刻・早退・忘れ物をせずに、また、事故に遭わずに決まった時間に学校に登校し、決まった時間に下校することは、将来必ず役に立ちます。「早寝、早起き、朝ごはん」をお勧めします。

Q 8 : 話はもどりますが、「学習の仕方」を身に付けることも、上級学校や社会に出て役に立つのですか。

A : よいところに気がつきましたね。その通りです。

- (1) 学習の仕方を身に付けることは、高校や大学・短期大学・専門学校、大学院など上の学校に進めば進むほど役に立ちます。また、仕事や社会活動を行い、生活をする上でもとても役に立ちます。一生役に立ちます。
- (2) 何か新しいことを学ぶときのテキスト・参考書・資料集の選び方、テキストの学習の仕方、授業の受け方、ノートの取り方、家での予習や復習の仕方、單元ごとのテストの受け方、学期や学年ごとのテストの受け方など、中学校でやっている各教科の「学習の仕方」がすべて役に立ちます。
- (3) 仕事をするときは、テキストがないことが多いです。必要なことはすべてメモを取り、それをあとで確認し、時には身に付けることが求められますので、ノートの取り方を中学校時代に身に付けるとよいと考えます。「仕事はメモで身に付ける」と私は考えます。
- (4) テキストや文章を読んでいて、わからないことばがあったら辞書を用いて調べ、調べたことばの意味をノートに書き写して覚えることも、仕事では大切です。仕事の上で書けないことばをなくすために書き取り練習をすることも大切です。
- (5) 学校の教科書で紹介されているような作品や筆者の本を読むことです。本を丁寧にゆっくりと何回も読んで「思慮深さ」(自分自身を振り返る力)を身に付けること、また、気に入った文章やことばは「書き抜き読書ノート」に書き抜いて一生を通じて繰り返し読み直すことも大切です。
- (6) 新聞を読み、自分で考える力、批判的思考能力(ひはんできしこうのうりょく)を身に付けることも大切です。新聞は社会の番犬(watch dog)。社会の問題点や課題を世の中に示すのが社会的使命(mission, ミッション)です。一気に記事を切り抜き、「スクラップブック」に—
- (7) 図書館の使い方も学生時代に身に付けてください。

Q 9 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) これからは、「自己責任」「自助努力」「あきらめたらおしまい」「自分の未来は自分で切り拓く(ひらく)」
- (2) 「教育ある人とは一生勉強し続ける人」
 - (3) 「一生勉強、一生青春」
 - (4) ただし、「健康第一(心の健康、身体健康)」
 - (5) 中学校時代の同級生は一生の友達、先生は一生の恩師。少しずつでも友情を育もう。
 - (6) 自分のよさを見つけ、自信を持ってどんどん伸ばそう。

以上

* 御清聴を感謝します。